



山形県教員採用試験HP 山形県教員採用X(旧ツイッター)

本日の内容

- 1 山形県の教育
- 2 研修体制
- 3 職場環境
- 4 待遇
- 5 試験の変更点
- 6 試験の概要と令和5年度実施の試験結果
- 7 よくある質問

最後に質疑応答の時間があります。
遠慮なくお聞きください

山形県DC推進監
きてけろくん

1 山形県の教育

- 目指す教育
- 目指す教師像
- 特色ある教育

山形県の目指す教育

第6次山形県教育振興計画

【基本目標】
「人間性に満ちあふれ、
山形の未来をひらく人づくり」

【目指す人間像】
「いのち」をつなぐ人
学びを生かす人
地域をつくる人

〈テーマ〉 つなぐ～いのち、学び、地域～

〈目指す人間像〉

「いのち」をつなぐ人
自分の存在や生き方を大切にしながら、多様性や個性を受け止め、他者の生命や生き方を尊重する人。先人から自分へと受け継がれてきた生命を、次の世代につないでいく人。

学びを生かす人
学びを重んずることを通じて、知・徳・体・心・性を磨き、自ら考え主体的に行動し、変化や困難に直面しても柔軟かつ的確に対応できる人。多様な知能・技能・経験を生体的・精神的に捉え、地域の人と協働しながら新たな価値を生み出し、学びを人生や社会に生かす人。

地域をつくる人
郷土を愛し、地域とつながり続ける人。地域コミュニティの一員として、あるいは地域と継続的かつ多様な形で関わり、地域のおよそを主体的に捉え、地域の人と協働することを通じて、地域の未来をつくる人。

**広い視野と高い志を持って
(全体を責め基本姿勢)**
夢や希望を持って、その達成に向け行動し続ける姿勢。地域の恵から世界をみるなど広い視野で物事を考え、より高い価値の創造に意欲に挑戦し続ける人。

1 山形県の教育

採用時に求める教員の姿

1. 児童生徒への深い教育愛と教育に対する強い使命感、責任感のある方
2. 明るく心身ともに健康で、高い倫理観と規範意識を備え、法令を遵守する方
3. 豊かな教養とより高い専門性を身につけるために、常に学び、自らを向上させる姿勢をもち続ける方
4. 山形県の教員として、郷土を愛する心をもち、人とのつながりを大切にして、地域社会においてよりよい学校を築こうとする方

1 山形県の教育

特色ある教育

○教育やまがた「さんさん」プラン

少人数学級のメリットを生かしたきめ細やかな指導の充実により、個の能力を最大限に伸ばし、「わかる授業」「いじめや不登校のない楽しい学校」を目指す

○確かな学力の育成を目指した授業づくり

- ・「課題の設定」「情報収集」「整理・分析」「まとめ・表現」の一連のプロセスの充実
- ・児童生徒の**主体的・協働的な学び**を通じた**思考力・判断力・表現力等の育成**
- ・「**個別最適な学び**」と「**協働的な学び**」の**一体的な充実**という観点から学習活動等の方向性を共有する

↓
資質・能力の育成

1 山形県の教育

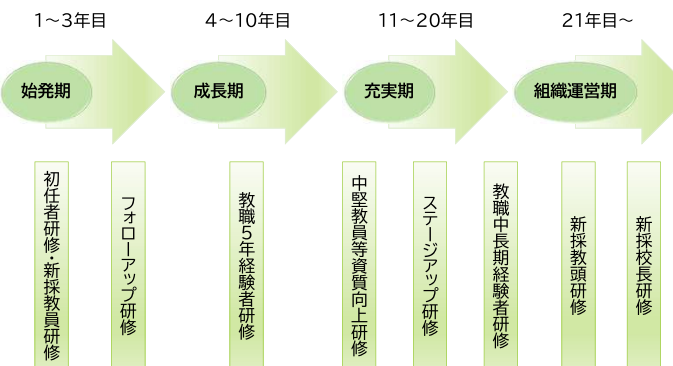
2 研修体制

- キャリアアップ
- 初任者研修
- チーム「あなた」

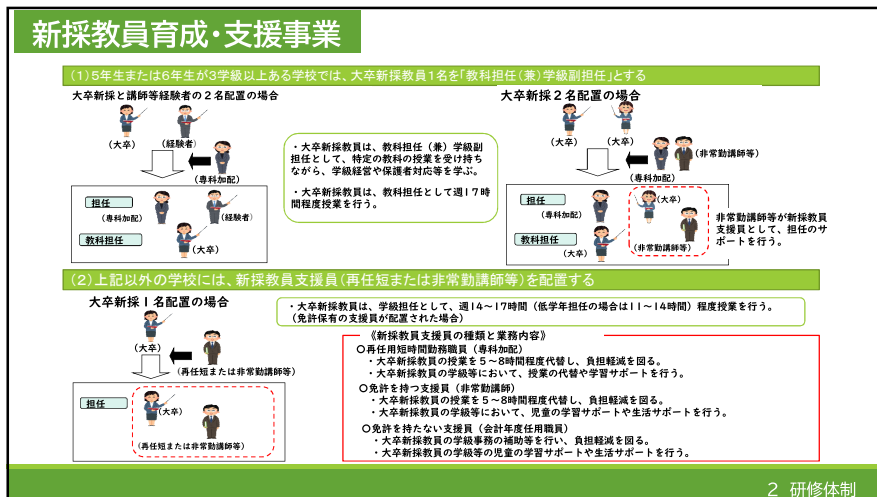
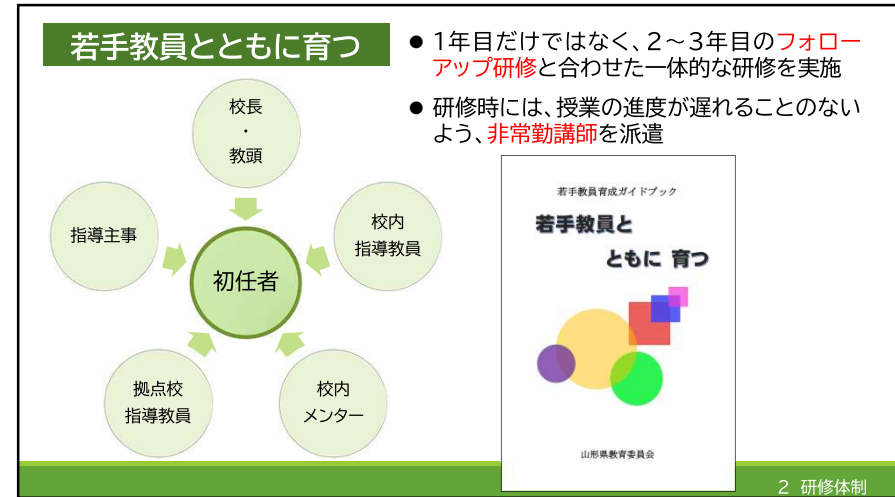


キャリアアップ

～教員ライフとキャリアステージ～



2 研修体制



学校の働き方改革

山形県公立学校における働き方改革プラン（第Ⅱ期・令和5～7年度）

第Ⅱ期の目標

- ① 半期における時間外在職等時間の月平均が80時間を超える教員数0人を目指す
- ② 年間における時間外在職等時間の月平均が45時間を超える教員数0人を目指す

【概要版】

＜働き方改革の目的＞

- 教職員の心身の健康保持
- ワークライフバランスの実現
- 活き活きと働ける職場環境づくり

↓

教育活動の充実

3 職場環境

学校の働き方改革

第Ⅱ期の取組み方針と具体的な取組み内容

方針1 更なる意識改革

- 取組みの経緯: P・D・C・Aサイクルの構築
 - 学校における働き方改革取組み状況チェックシートの活用
 - 学校における取組み状況の把握と更なる改革に向けた具体的な取組みの実施
 - 管理職に対する人事評価（報酬）における目標設定の義務化
- 取組みの経緯: 教員業務支援員等の活用と先進事例の共有
 - 校長会、教員会、部活動指導員等の活用と先進事例の共有
 - 校長会や教員会に対する学校の働き方改革の報告

方針2 長時間勤務の要因への対応

- 取組みの経緯: ICTの有効活用
 - 全県立高等学校へのデジタル教科サービス導入
 - 効果検証と活用促進
 - ICTを活用した授業準備の業務共有の推進
 - 統合型勤務支援システムの生徒指導等への活用拡大
- 取組みの経緯: 人材の確保及び外部人材の活用
 - 産学連携の強化取組推進（ペーパーティーチャー説明会の開催、大学院生、大学の非常勤講師の活用等）
 - 教員業務支援員や部活動指導員等各種外部人材の配属の充実
 - スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーの配属の充実
- 取組みの経緯: 業務の外部委託の推進
 - 学校、教員が担う業務の明確化、適正化の推進（学校庶務の公費外化、清掃業務の委託など）
- 取組みの経緯: 勤務環境全体の改善
 - 大学新卒の新採用用者の研修準備、教材研究時間の確保（研修支援プラン）
 - 小学校における新任教員の導入促進（新任担任アシスタント制度等）
 - 勤務分担の軽減、休職期間短縮、自課課の負担軽減等の推進
- 取組みの経緯: 働き方改革の推進
 - 部活動がイノベーションの場となる推進
 - 部活動指導員等の活用や若年加入制、専任顧問制による部活動指導員の負担軽減
 - 勤務時間内に終了できる部活動の適切な運営に向けた取組の推進

取組みの強化・浸透 → 「取組み状況チェックシート」で進捗状況を把握・確認

各学校

- 45分程度以上の教員に対する、管理職による解任指導の具体的な指導
- 保護者・地域に対する集約的対応についての統制・適切化
- 教職員一人一人の時間外在職等時間の可視化
- 学校、教員が担う業務の明確化、適正化の推進
- 教材の整備・共有化
- ICTを活用した児童生徒への情報共有
- チームによる児童生徒への個別対応等
- 小学校における教科担任制の導入
- 長期休暇の期間を短縮した別育休制度の推進
- 部活動ガイドラインの遵守
- 部活動の在り方等の見直し（部活動指導員、指導員等）
- 勤務時間内の部活動終了に向けた検討

3 職場環境

学校の働き方改革

- 人材の確保及び外部人材の活用
 - ・ 教員業務支援員（スクール・サポート・スタッフ）
 - ・ 校務補助員
 - ・ 部活動指導員
 - ・ スクールカウンセラー
 - ・ SSW（スクールソーシャルワーカー） など
- ICTの有効活用
 - ・ 校務支援システム
 - ・ デジタル採点
 - ・ 保護者等への連絡 など
- 教員の事務負担軽減
- 勤務時間に対する意識の啓発 など

3 職場環境

人材の活用

専門のスタッフ

- 事務・授業サポート
 - 教員業務支援員 県内の小中学校、特別支援学校（本校）に130名
 - 校務補助員 すべての高校
- 部活動
 - 部活動指導員 県内すべての中学校 高校11校
- 地域連携
 - 地域学校協働活動推進員 地域学校協働活動147本部 地域学校協働活動推進員285名
- 個別支援
 - スクールカウンセラー 県内すべての小中等学校に派遣
 - スクールソーシャルワーカー 県内すべての小中学校に派遣
 - 特別支援教育支援員 高校14校

左記以外にも、市町村独自

- ・学習支援
- ・特別支援
- ・教育相談
- ・読書活動
- ・日本語指導
- ・外国語指導 等々

を担当する方がたくさんいます。

3 職場環境

部活動ガイドライン

山形県における部活動の在り方に関する方針(抜粋)
 (運動部:平成30年12月、文化部:令和元年7月策定)

休養日	平日1日以上、土曜日及び日曜日(週休日)1日以上
活動時間	平日2時間程度、週休日等3時間程度
長期休業中の休養日	ある程度長期の休養期間を設ける (連続した休養日の設定)

3 職場環境

4 待遇

- 給与等
- 休暇等
- 福利厚生



給与・手当

□初任給

	大学卒	大学院卒
山形県の行政職	205,700円	217,300円
山形県の教育職=教諭	235,352円	256,568円

教育職は教職調整額を含む。山形県内の大学卒初任給平均は¥205,700
 初任給は職歴、経験年数を加算

□手当

- ・期末勤勉手当
4.45ヶ月分(令和5年度実績)を、6月と12月に分けて支給
- ・住居手当
例) 一ヶ月の家賃が¥50,000のアパートを借りた場合¥23,500
- ・扶養手当
扶養する配偶者、子、祖父母等がいる場合に支給
- ・通勤手当
通勤距離、通勤方法に応じて支給

他にも様々あります

4 待遇

休暇等

- 勤務時間 ・週あたり 38時間45分(1日あたり7時間45分)
 ・休日は、土曜日・日曜日、祝日、年末年始



□休暇・休業(主なもの)

休暇名	日数	備考
年次有給休暇	20日	翌年への繰り越しあり
夏季休暇	6日	7~9月に取得
リフレッシュ休暇	5日	満30、40、50歳
私傷病休暇	90日	生活習慣病休暇への引き継ぎあり
生活習慣病休暇	180日	がん等を含む生活習慣病や精神性疾患
忌引休暇	10日	1~10日の範囲
骨髄移植休暇	必要な期間	
災害休暇	必要な期間	非常災害発生時
婚姻休暇	7日	新婚旅行等で取得する方が多い

4 待遇

福利厚生

- 採用と同時に「公立学校共済組合員」
- 検診事業(年1回の定期健康診断、人間ドック)
東北中央病院は山形県にあります
- 給付事業(病気、災害、厚生年金)
- 貸付事業(住宅、結婚、出産、教育)
- 健康相談、メンタルヘルス相談
- ライフステージに合わせた祝金、見舞金
- リフレッシュ推進(プロスポーツ体感、宿泊利用補助)

4 待遇

5 試験の変更点



変更点

1. 大学推薦特別選考における推薦枠の拡大

<従来> 各大学、推薦対象となる各校種、教科・科目につき、原則1名
大学院を置く大学は、大学及び大学院から各1名(計2名)

↓

<来年度> 各大学が推薦できる、推薦対象となる各校種、各教科・科目
の推薦枠を大学及び大学院から**5名まで拡大**
※4月上旬に大学推薦実施要項を各大学に送付予定

5 試験の変更点

変更点

2. 現職教員特別選考における出願条件の緩和(年齢制限の撤廃)

<従来> 現職教員特別選考においては、50歳未満の方まで
R6教採では昭和49年4月2日以降に出生した方が出願可能

↓

<来年度> 現職教員特別選考の**年齢制限を撤廃**
R7教採については、昭和38年4月2日以降に出生した方
(令和7年4月1日**採用日時点で61歳の方**)が、出願可能となる

5 試験の変更点

変更点

3. 東京会場の新設(一次試験・小学校対象)

<来年度>

○新たに**東京会場**を設置

- ・実施会場: **東京都内の大学**を借用し実施予定
- ・対象校種: **小学校・特別支援小学部** (二次試験は山形での実施)
- ・実施試験項目: 教職教養・一般教養、小学校の全科目(専門)
- ・実施選考区分: **一般選考、大学推薦特別選考**(その他は山形会場のみ)

5 試験の変更点

変更点

4. 一次試験実施会場の変更

実施会場	R6実施校種・教科	R7変更後 実施校種・教科
上山明新館高	中高(保体・音を除く教科・科目) 養護教諭	実施しない
山形中央高	小学校・栄養教諭・中高(保体)	中高(保体)・養護教諭
山形北高	中(高)(音楽)	中(高)(音楽)
県教育センター	中(技術)	実施しない
山形工業高	—	小学校・中高(保体・音を除く教科・科目) 中(技術)・栄養教諭
東京会場	—	小学校(新規)

※小学校・中学校には、特別支援小学部、特別支援中学部を含む

5 試験の変更点

6 試験の概要
・
試験結果等



選考を行った校種等、教科・科目と採用見込数

※R5実施のもの

校種等	教科・科目	採用数	
小学校教諭 (小学校英語を含む)		184名	
中学校教諭	国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語	86名	
特別支援 学校	小学部教諭	25名	
	中学部教諭		中学部教諭の教科は中学校教諭に同じ
	高等部教諭		理療
	高等部助教諭	理療	
高等学校	教諭	国語、地理、「世界史・日本史」、公民、数学、物理、化学、地学、保健体育、英語、情報、農業、機械、電気、建築、土木、工業化学、商業、看護	
	助教諭	機械、電気、建築、土木、工業化学	
養護教諭		12名	
栄養教諭		1名	

6 試験の概要・結果

選考区分

※合格者数はR5実施のもの

区分	志願資格	合格者数	
一般選考	特別選考の志願資格の方以外はこちら	181	
特別選考	講師等	本県の講師等(非常勤も含む)を、 通算13ヶ月以上	53
	元職教員Ⅰ・Ⅱ	本県又は他県等で正規採用として3年以上継続して勤務	9
	現職教員Ⅰ・Ⅱ	現在 、本県以外において正規採用として、 3年以上継続 ※ 3年目 の方も可	30
	大学推薦	校種等、教科・科目で、大学より1名(規定による)	41
	社会人	教科・科目と関連する実務経験を、 5年以上継続 (英語、工業、情報、看護)	1
	前年度二次Bランク	前年度一次合格、二次不合格でBランクの方	28
	障がい者	障がいのある方	0
スポーツ	国際大会出場、全国3位以上の指導実績 ※高校の保健体育のみ	1	

※ 元職・現職Ⅰ(高校以外)、元職・現職Ⅱ(高校)

6 試験の概要・結果

大学推薦特別選考

※校種・教科はR5実施のもの

○対象となる校種・教科等と人数

小学校		各1名 →各5名へ (R6実施から)	
小学校英語			
中学校	国語、理科、技術、家庭、英語		
特別支援学校	小学部		
	中学部		国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語
	高等部		理療
高等学校	地理、公民、地学、情報、農業、機械、電気、建築、土木、工業化学、商業、看護		

○推薦要件など(一部抜粋)

- 山形県が第一志望
- 採用延期できない
- 小と特支、中と高などの併願はできない
- 「優」または「A」以上が60%以上が望ましい

○試験項目

- 一次試験の「**教職教養・一般教養**」免除

6 試験の概要・結果

前年度二次試験Bランク特選

対象:次の条件をすべて満たした受験者

<条件>

- すべての試験項目**を受験した人
- 一次試験は合格、**二次試験で不合格**となった人
- 二次試験における**総合ランクが「B」判定**の人

↓

次年度は**一次試験がすべて免除**になる
結果通知書に「特選の対象者である」ことが明記

6 試験の概要・結果

試験項目・内容

※R5実施のもの

試験	試験項目	時間	具体的内容
一次試験	教職教養・一般教養	80分	教育法規、教育心理等の教職教養 と 一般教養
	小論文	80分	指定されたテーマについて、1000字以内で論述
	教科・科目	110分	出願した教科・科目の内容 (実技がある教科・科目では、90分で実施)
	実技試験	-	一部の校種等、教科・科目のみ
二次試験	個人面接1・2	-	面接官数名と受験者との面接 「場面指導等」を含む
	作文	-	指定されたテーマについて、800字以内で作文
	実技試験	-	小学校と特別支援学校小学部 英語と音楽の選択

校種等、教科・科目、選考区分によって、試験内容は異なります。

6 試験の概要・結果

選考区分と試験項目 ※R5実施のもの

□一次試験

	一般選考	特別選考				現職・元職 I 前年度一次
		現職・元職 II 大学推薦	講師等 社会人	スポーツ	障がい者	
教職教養 ・一般教養	○	免除	—	免除	○	免除
小論文	—	—	○	○	—	
教科・科目	○	○	○	免除	○	
実技試験	○	○	○	免除	○	
面接	—	—	—	○	—	

6 試験の概要・結果

選考区分と試験項目 ※R5実施のもの

□二次試験

	小学校・特支小学部		その他の 校種等
	現職 I・元職 I	その他	
作文	○	○	○
個人面接1	○	○	○
個人面接2	○	○	○
適性検査	○	○	○
実技試験	免除	○	—

6 試験の概要・結果

実技試験のある校種等 ※R5実施のもの

	校種等、教科・科目	試験内容	
一次	中学校	音楽	・新曲視唱、新曲視奏、ピアノ演奏、歌唱指揮 ・随意曲選択演奏(歌唱または器楽)
		美術	・水彩画
	中学校 高等学校	保健体育	・次の領域から2領域選択 陸上競技、器械運動、球技(バレーボール、バスケットボール、 サッカーのうち1種目)、武道(柔道、剣道のうち1種目)、ダンス
	中学校	技術	・木材加工、回路の製作 ※技術のみR4実施のもの
	中学校 高等学校	家庭	・調理、裁縫
		英語	・英語による面接
	養護教諭	・場面对応	
二次	小学校 特支小学部	音楽(伴奏譜によるピアノ演奏) か 英語(英語による簡単な自己紹介と日常会話) のいずれかを選択	

6 試験の概要・結果

- 小学校の実技(英語・二次試験)** ※R5実施のもの
- 英語による自己紹介
 - 日常会話
- (例) 英語で答えられますか？
- Who is your favorite singer?
 - What kind of music do you like to listen to?
 - What do you usually eat for lunch?
- (県HPに掲載の出題例より抜粋)
- 6 試験の概要・結果

作文(二次試験)のテーマ

※R5実施のもの

- これからの社会を生きていく子どもたちに対して、教師として掛けたい言葉とは
- 教師として、成長するために必要なことは
- 多様性に対する児童生徒の理解を育むために、大切なこととは
- 学級における危機管理において重要なこととは
- 子どもたちが人生において幸福や生きがいを感じられるための教育とは
- 子どもたちの個別最適な学びをどのようにつくるか

過去3年分の問題等は、山形県庁1階「行政情報センター」で閲覧・複写できます
 電子申請による請求もできます
 詳しくは→<https://www.pref.yamagata.jp/documents/31285/kakomon-get.pdf>

6 試験の概要・結果

一次試験の配点

※R5実施のもの

		教職教養・一般教養	教科・科目	実技試験
小学校、特支小学部		100点	150点	－
中学校 特支中学部	実技あり	100点	100点	50点
	実技なし	100点	150点	－
高等学校 特支高等部	実技あり	100点	200点	100点
	実技なし	100点	300点	－
	スポーツ特選	小論文120点、面接280点		
養護教諭		100点	100点	50点
栄養教諭		100点	150点	－

加點制度を利用した方は、高校は40点、それ以外は25点を上限に加點されます

6 試験の概要・結果

二次試験の配点

※R5実施のもの

	個人面接1	個人面接2	作文	実技試験
小学校、特支小学部	210点	140点	50点	50点
中学校、特支中学部 高等学校 養護教諭 栄養教諭	210点	140点	50点	－

あなたの配点

一次試験()点 : 二次試験()点

6 試験の概要・結果

加點制度

※R5実施のもの

	加點要件		小	中	特小	特中	高	養	栄
① 「数学」、「理科」、「音楽」、「保健体育」及び「英語」の免許状	5								
② 受験教科以外の中学校の免許状		5							
③ 受験教科以外に「情報」の免許状			10	10	30				
④ 受験教科以外に「福祉」の免許状						10			
⑤ 「世・日」または「地理」受験者で、「公民」の免許状						5			
⑥ 「公民」受験者で、「地理歴史」の免許状						5			
⑦ 受験教科以外で「数学」または「理科」の免許状				10	10				
⑧ 特支5領域すべての免許状				10	10				
⑨ 「視覚」、「聴覚」から1+「知的」「肢体」「病弱」から2				5	5				
⑩ 特支の免許状	10	10				10			
⑪ 英検2級、TOEFL iBT 65点、TOEIC 600点	10		10						
⑫ 「英語」受験者で英検準1級、TOEFL iBT 80点、TOEIC 730点		10		10	10				
⑬ 司書教諭の資格を持っている(見込での加點はしない)	5	5	5	5	5	5	5	5	5

加點申請者 = 159名

6 試験の概要・結果

併願制度

次の組合せ①～③において、一方の校種を第一志望、他方の校種を第二志望として出願できます。

組合せ① 「小学校」と「特別支援学校小学部」	← 小学校と特別支援学校の両方の免許状が必要
組合せ② 「中学校」と「特別支援学校中学部」	← 中学校と特別支援学校の両方の免許状が必要
組合せ③ 「中学校」と「高等学校」(R5は、国・英のみ)	← 中学校と高等学校の両方の免許状が必要

・ポイント①
「小」と「特支小」の教科・科目の問題は同じ
「中」と「特支中」の教科・科目の問題は同じ
「中」と「高」の教科・科目の問題は同じ ※R5は、国・英のみ

・ポイント②
第一志望を特支小中、第二志望を小中で併願する方は、**第二志望で必ず加点申請**できます

6 試験の概要・結果

小学校英語

小学校の英語教育の充実を目指しています

- 英語の専科指導教員や学級担任として、小学校の英語教育を推進する役割を担う教員を採用
- 志願要件は、小学校のほか、中または高の英語の免許所有
- 試験項目は小学校と同じ。二次試験の実技試験は英語選択が必須
- 始発期は学級担任としての力量を高めます。初任研は小学校の方と一緒に(初任～3年目)

※採用当初から「英語専科」や「英語の教科担任」とは限りません

※「小学校英語」で選考漏れとなった場合でも、「小学校」で採用される可能性があります

6 試験の概要・結果

スケジュール

～合格へのロードマップ～

4月中旬～5月中旬	7月中旬	8月下旬	9月下旬
出願	一次試験	二次試験	合格・採用
実施要項等のダウンロード	電子申請各種書類提出	一次試験の対策	採用に必要な書類の提出
	7/13 一次試験の受験	8/27～29 二次試験の受験	合格発表
	一次試験の対策	一次試験の合格発表	

6 試験の概要・結果

必要な手続き

- 「実施要項」「エントリーシート」をダウンロードする
※実施要項公表(予定)：令和6年4月中旬
- 「電子申請」で必要事項を入力する
※電子申請期間(予定)：令和6年4月中旬～5月中旬
※エントリーシートも電子データを電子申請システムに登録

(該当者のみ)

- 「加点申請書」等をダウンロードし、作成する
※加点申請書、特別選考関係書類は郵送(簡易書留)で提出

6 試験の概要・結果

必要な手続き

詳細は**山形県HP**をこまめにチェック！

ホームページの確認が抜け落ちそうで心配……

教員採用X
(旧Twitter)



山形県HP
(教員採用)





県HPの更新
↓
Xで
必ずポストします！

6 試験の概要・結果

ダウンロードが必要な書類

対象者	ダウンロードが必要な書類	提出方法
全員	エントリーシート	電子申請システムに 電子データを登録
講師等特選受験者	職歴申告書	郵送 (簡易書留)
現職教員特選受験者	在職証明書★	
元職教員特選受験者	職歴証明書★	
スポーツ特選受験者	スポーツ特別選考調書	
大学推薦特選受験者	推薦書☆	
加点申請者	加点申請書	

★:採用された自治体の教育委員会が作成 ☆:大学の教授等が作成

6 試験の概要・結果

一次試験

令和6年度実施予定日:令和6年**7月13日(土)**

① 会場

- 山形中央高校 (各校種等の「保健体育」、養護教諭)
- 山形北高校 (各校種等の「音楽」)
- 山形工業高校 (上記以外)
- 東京会場(未定) (小学校、特支小学部のみ)

② 日程

- 午前
「教職教養・一般教養(小論文)」 → 「教科・科目」
- 午後
「実技」 ※実技のない方は午前で終了

6 試験の概要・結果

二次試験

令和6年度実施予定日:令和6年**8月27日(火)～8月29日(木)**

① 会場

- 山形県教育センター

② 日程

- 3日間のうち、指定された半日
- 「個人面接1・2」* 「作文」「適性検査」 *場面指導等を含む
- 小学校と特支小学部の「実技」は、別の日に実施

小・特小の場合	8月27日(火)	8月28日(水)	8月29日(木)
パターンA	作文・面接・適性 (半日)	実技	-
パターンB	-	実技	作文・面接・適性 (半日)

6 試験の概要・結果

7 よくある質問



庄内地域
豚肉・味噌味

高橋地域
牛肉・しょう油味 (かくし味に味噌)

福上地域
牛肉・しょう油味

村山地域
牛肉・しょう油味

採用延期制度

- 合格後、期日までに**採用延期願**を提出すれば、合格の権利をもったままで大学院へ進学、または大学院での修学を継続できる
- 大学院在学中に、**合格した校種等の専修免許状を取得**すること
- 以下の条件(どちらか)にあてはまっていればよい

<条件>

1. 教職大学院、専修免許状の取得可能な大学院または修士号取得可能な海外の大学院に進学予定の合格者 → 2年延期
2. 大学院修士課程*1年次に在学中の合格者 → 1年延期

※ 延期期間終了までに専修免許状が取得できない → 採用無効

7 よくある質問

出願についてのQ&A

- Q: 小学校の実技試験は、**音楽と英語**のどちらを選択した方が有利ですか？
A: どちらを選択しても、有利不利はありません。自分の力をより発揮できる方を選択してください。
- Q: 出願時に選択した実技試験(校種等)を、**後から変更**することはできますか？
A: できません。出願前によく検討して選択してください。
- Q: **出願後**に英語資格の結果が届く場合は、加点申請を行うことはできますか？
A: できません。出願時点で英語資格の証明書の写しの提出が必要です。
- Q: **司書教諭**講習の単位を年度内に取り終える予定です。加点申請を行うことはできますか？
A: できません。出願時点で司書教諭講習修了証書の写しの提出が必要です。

7 よくある質問

出願についてのQ&A

- Q: 大学の通信課程で特別支援学校教諭の免許状を取得しようとしています。大学からは「**免許状取得見込証明書は出せない**」と言われましたが、加点申請はできますか？
A: (残念ですが) **できません**。
- Q: 小学校の免許を所有しており、現在、大学の通信課程で特別支援学校教諭の免許状を取得しようとしています。**特支学校小学部を志願**することはできますか？
A: **できます**。ただし、合格後、**免許状が取得できない場合は採用できません**ので御注意下さい。
- Q: 前年度「小学校」で受験し、二次で不合格となりました。今年度は「**前年度二次Bランク特選**」で受験しようと考えていますが、「特支小学部」を**併願**することはできますか？
A: (残念ですが) **できません**。前年度特選は、**前年度と同じ校種を受験する場合に限り有効**です。

7 よくある質問

HPIは、更新されますのでチェックを！

「山形県」→「資格・試験・採用」→「山形県公立学校教員の採用について」

いつでも、何でも相談してください！！

山形県教育局教職員課(県庁13階)

教員採用試験担当(働き方改革推進)	023-630-3406
小学校・中学校・特別支援学校	023-630-2864
高等学校	023-630-2863

臨時教員(講師等)は常に募集中！！

365日常に募集しており、随時任用(採用)しています
登録票(履歴書)を提出した方と相談して、任用する学校が決まります
フルタイムから数時間、一年間から年間数日と様々な任用があります

最後にお知らせです